

令和6年度 学校評価

内子町立小田中学校

【教育目標】	ふるさとを愛し、自覚と自信を持って生きる生徒の育成
【基本方針】	1 「ふるさと小田」の良さを生かした特色ある学校づくり 2 「1人は一校を代表する」の教えの下、子どもたちの自覚と自信を引き出す学校づくり 3 心の教育の充実を図り、人権が尊重される学校づくり 4 安全・安心で信頼される学校づくり

【評定】 A…順調 B…おおむね順調 C…あまり順調でない D…順調でない

分類項目	評価結果(%)			考察・改善	学校評価委員の評価	評価
	○…該当する調査項目 数値…12月の評定のA+B					
	対象	R5	R6			
確かな学力の定着と向上を重視した教育活動に努める。(生徒一人一人に応じた適切な指導)	保護者 ① 生徒 ② 教職員 ⑪⑮	88 100 75	80 96 100	昨年度に引き続き、ドリルテストの取組活性化と自主学習ノートの工夫を中心に、家庭学習の充実に力を入れてきた。タブレットの思考ツールを用いた授業で生徒達にじっくりと考えを深めさせることができた。EILSを利用する教職員が固定化しないことが重要である。	少数の良さを活かし、丁寧に取り組んでいるのではと思う。更なる学力向上に向けて引き続き手厚い学習指導をお願いしたい。	A
人権尊重の精神を育成し、いじめ・不登校のない学校づくりに努める。	保護者 ⑤ 生徒 ⑧ 教職員 ⑱⑲	76 75 95	74 92 100	不登校傾向の生徒への継続指導を心掛け、校長の指導の下、全教職員で支援を続けている。生活調査や教育相談の充実と教員、生徒、保護者の人間関係づくりをさらに深め、いじめ・不登校のない学校づくりに取り組んでいく。	人権学習に終わりはないので、継続して取り組んでほしい。難しい年頃なので向き合ってほしい。少し否定的な意見もあるので、引き続き対応をお願いしたい	B
家庭・地域と積極的に連携し、地域に根ざした特色ある教育の推進に努める。	保護者 ⑪ 生徒 ⑥ 教職員 ①②	94 71 95	94 84 100	学校運営協議会を核として、ふるさと学習や総合的な学習の時間の地域との連携が充実できた。地元自治会と連携し地域防災訓練に参加し、継続して防災学習も行うことができた。今後は、より効果的な広報活動にも力を入れ、地域とともにある学校づくりを目指していく。	地域とよく連携ができてきている。生徒自身が地域の良さを発見し追求しようとする取組の継続を希望。地域の人と大いに関わってほしい。	A
学校や地域で、安心して生活できる環境づくりや安全教育を充実する。	保護者 ⑦⑧ 生徒 ⑩ 教職員 ⑥⑦	88 96 100	84 96 96	今年度も、幼小中合同の訓練を2回実施し、中学生が中心となった自助・共助の意識を向上させることができた。地域の安全協会の方の協力で交通安全教室・自転車点検も実施し、事故に遭わない・事故を起こさないための安全教育を行った。	国道、町道や小田川などの危険箇所の情報共有に努めていただいている。自分の命は自分で守れるよう、日頃からの準備と意識付けをお願いしたい。	A
働き方改革を推進し、豊かでゆとりのある教育活動を展開する。	教職員 ⑳㉑	55	67	ICTを効果的に活用し、計画的に業務を進めているが、一人にかかる校務分掌の数が多く、教員の負担感につながっている。教育活動を更に工夫していきたい。	先生方には働き方改革に取り組み、余裕のある環境になるよう希望する。強いては生徒指導にも繋がることだと思う。	B

【評価】 平均80以上…A ただし75以下があればB